



スーパー グローバル ハイスクール

# 佐高 *SGH*通信 2018

No. 31 (平成30年12月17日発行)

## 第4回全国SGH校生徒成果発表会 参加報告

11月4日(日)筑波大学東京キャンパスにて、第4回SGH校生徒成果発表会が開催されました。わが佐野高校SGHクラブ研究班(国内研究班・海外研究班)から10名の生徒が参加して、ポスター発表とグループディスカッションに臨みました。午前中のポスターセッションでは来場者に研究内容の説明を、また昼食後のグループディスカッションでは国内外の生徒たちと各グループのテーマについてのディスカッションを、英語と日本語で元気に行ないました。

(生徒たちの発表会場での様子です)



☆ 発表会に参加した SGH クラブ研究班の皆さんの感想です!!

筑波大学附属坂戸高校をはじめとした全国の SGH 高や、海外の高校の生徒たちによる課題研究は、どれも明確な問題意識があり、興味深いものだった。とても良い刺激になった。      《高 2-1 新井康平》

多くの優秀なプレゼンを聞いたことや分科会で様々な人たちと交流できたことは、私にとっても良い刺激を与えてくれた。たくさんの人たちと繋がることができ、良い機会となった      《高 2-2 高橋くるみ》

発表を見たり聞いたりしたことで、他校がどのような研究をしているかを知ることができ、良い刺激になりました。それぞれのテーマについて自分でも考えてみようと思いました。      《高 2-2 須藤悠希》

私は今回の発表会で、他校の生徒との交流会やポスター発表を通して、新たな考え方を学ぶことができました。また提言が明確で実際にその内容を実行している学校もあり驚きました。      《高 2-3 大嶋佑佳》

今回の大会では今年初めてのポスター発表をしました。うまく説明できないところがありましたが、そこを修正して、今後はより良い発表ができるようにしていきたいと思います。      《2-4 安生温大》

1 年前、たくさんの刺激を受けたこの場所にまた戻ってくることができて嬉しい。世界の様々な社会問題に対する多角的視野からの解決策にインスピレーションを受けた 1 日だった。      《高 2-1 大芦さくら》

他校の生徒の皆さんや先生方から、多くの鋭い質問や意見を頂きました。そのお陰で、今までとはまた異なる視点から、自分たちの研究を見直すことができたと思います。      《高 2-2 坂井里衣》

全国の SGH 校の発表を聞き、学ぶことが数多くありました。分科会ではインドネシア共和国の学生の皆さんと、ディスカッションを行ない、森林保全に向けて私たちにできることを考えました。他国から見る新たな視点で、問題について考えることができました。      《高 2-3 新井里梨》

他の SGH 指定校や国外の生徒の皆さんとの交流を通して、非常に良い刺激を受けただけでなく、様々な人々に関わることで、より良い研究となることを実感できました。      《高 2-4 西川紗生》

ポスター発表を通して国内外の生徒たちと活発な意見交換を行なうことができました。他の SGH 校の興味深い研究で得た刺激やアイデアを今後の活動に生かしたいと思います。      《高 2-4 松澤あさひ》